

2020年度 経営学科「知の探究」

※)標準履修年次2020年度2年生対象

※)「知の探究」開設9クラス・リスト(仮)

※)各クラス定員 未定【2019年度実績26人】

※)春学期終了頃に、履修を希望するクラスを3つ申請し、配属クラスを1つ決定

※)各クラスの詳細な授業計画・内容については、シラバスを参照のこと

2019年度 開設予定クラス		曜日	学問分野 キーワード	授業概要 (シラバス)	授業計画概要
青木 勝一	アオキ マサカス	火曜 1時限	公共経営	この科目は、3年次におけるゼミナールの基礎的な前提となる科目であり、専門領域の基礎的な理解を深めるためのものである。企業経営、公共経営、会計、経済・ファイナンス、統計・情報技術、法律など本学部の専門領域を網羅した形で各教員が担当する。専門の基礎を学ぶことで、3年次からのゼミナールへの移行がスムーズに行くと考えている。成績は、課題の提出とその内容により評価する。	本授業では、公共経営分野における事例調査の手法や考え方の基礎を学び、次年度のゼミナール及び卒業論文の作成への導入を図るものである。湘南地域の特定の自治体を事例として取り上げ、いくつかの政策領域(産業、福祉、防災など)に関し、当該自治体の直面する課題を調べ、その解決策あるいは取られている政策の改善案を考える。
石田 晴美	イダ ハルミ	火曜 1時限	財務会計、企業分析		「会計」分野のうち「財務会計」に的を絞り、①「財務会計」に関する現在のトピックを学ぶとともに、②主に有価証券報告書を活用した企業分析を行う。3年次のゼミナール履修に備え、最低限身につけておくべき社会人としての常識・マナーや自分で学び調べ、発表するための基礎を修得する。
櫻井 宏明	サクライ ヒロアキ	火曜 1時限	公共経済、経済政策、地域振興		政策企画立案の上で、海外の議論や優良事例の調査は有益である。本授業では、翻訳書の輪読を通じ専門書の読み方を学習するとともに海外で行われている議論を咀嚼する能力の進展を図る。特に経済学の考え方をを用いて書籍などを読み、海外を含めた優良事例を収集、政策立案に貢献するレポート作成能力の養成を目標とする。
志村 正	シムラ タシ	火曜 1時限	会計全般、一部経営学を含む		財務会計、管理会計を問わず、会計の考え方や会計の用い方について学習する。論理的に考える能力を向上することを目指す。ディスカッションやプレゼンなどにより進める。最後に、ビジネス・ゲームを行って企業経営を疑似体験する。会社四季報、日経新聞などを用いた分析やFPなどの資格についても取り上げる。
鈴木 誠	スズキ マコト	火曜 1時限	ファイナンス(金融)、インベストメント(投資)など		ファイナンスとは、経済学と経営学の交差する領域であるが、その扱う範囲は広い。本講座においては、基礎的な知識の習得を目指すこととする。具体的には、金融機関の役割について理解を深めたり、株式や株式投資について疑似的体験を通して考察したりする予定である。最終的には日経新聞の記事が理解できるレベルに達するように導きたい。
堀田 敬介	ホッタ ケイスケ	火曜 1時限	問題発見、問題解決、オペレーションズ・リサーチ、シミュレーション、意思決定科学、経営科学		複数の代替案(選択肢)から望ましいものを選ぶという意思決定をするためには、適切な問題発見と問題解決の技法が必要となる。本コースでは、Excel等PCを利用してどのように問題発見・解決をするか、いくつかのトピックについて実践的に学ぶ。ゲーム理論、シミュレーション、最適化、GISなどを扱う。
森 一将	モリ カズマサ	火曜 1時限	マーケティング分析、多変量解析、ビジネス心理学		本授業では、企業におけるマーケティング活動などの集団的意思決定に必要な数理知識及び統計技法を習得し、合理的意思決定の方法について理解を深める。特に本授業では統計的仮説検定の諸手法を演習することにより、その背後にある合理性の基本構成を理解し、それを基にしてマーケティング分析のレポートが書けるようになることを目指す。
山本 顕一郎	ヤマモト ケンイチロウ	火曜 1時限	法学、情報と法、インターネットの法律問題・社会問題		このクラスの共通の課題として「情報通信ネットワーク内で生じる様々な法律問題・社会的問題」を設定し、これを多面的に考究する。具体的には、SNS等への不適切投稿・誹謗中傷、プラットフォーム規制、フェイクニュース等々である。このような調査研究により、ネット空間に生起する諸問題を認識し、解決策の有無・方法を追究する。同時に、ゼミナール活動に必須の技能・スキルを養っていく。
山崎 佳孝	ヤマザキ ヨシタカ	火曜 1時限	異文化マネジメント、国際人材開発		本授業では近年のグローバル化を鑑み、日本国内、海外生活や海外赴任で起こる様々な問題、トラブル、コンフリクトについて様々な具体事例をもとに議論する。事例は国内摩擦、海外摩擦、国際摩擦の3つテーマから構成されている。グループ活動とプレゼンテーションにより学習効果を高める。